

2025年度 会長会議第2部

テーマ

「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」

「全国大会のあり方」

2025年4月19日

メトロポリタン仙台

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 A

書記 浜場 光介

発表者 碓 陽一

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？

- ・全構協と全青会のYouTubeチャンネルを作り登録者数200万人を目指す。設計士、構造設計へのチャンネルワンクリック連動収益化を目指す。
- ・実験、研究、業界のイメージアップ広告、緊急災害時の寄付などができる団体の設立。

2、全国大会の開催の意義について

- ・小規模な会社でも情報交換の場にできる。

3、全国大会の内容及び規模について

- ・規模を縮小し会長だけ出席にしてはどうかと意見と、出来るだけ多くで集まりたいとの意見が両方。
- ・会長会議には、会長、次期会長以外でも参加したい人は参加できるようにしてはどうか？
- ・基調講演をなくして、丸テーブルでのディスカッションの場を設ける。

4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について

- ・持回り制をやめて、やりたい都道府県がしてはどうか？
- ・2年に1回の開催にしてはどうか？
- ・運営するにあたり、ボランティアスタッフの募集。

5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？

- ・連携するのは難しいと思うが、今まで通り総会などは来賓で来てほしい。

6、その他自由な意見を記載ください

A班

富田 憲（群馬県） 伊藤 健一郎（三重県） 碓 陽一（京都府） 浜場 光介（岡山県）

上田 政志（愛媛県） 菅家 基史（新潟県） 小竹 真介（全青会）

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 B

書記 橋本 孝一 発表者 淵上 敦之

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・ドラマなどで、業界のイメージアップをしたい。
・ベテラン、新人問わず業界の基礎知識を教えてもらう機会などの教育（）
・新卒者（18歳）の入社後の新人教育（社会人として）。
・AW検定のような資格をFAB側で創りたい。
2、全国大会の開催の意義について
・都道府県によっては、懇親旅行も兼ねて全国大会に出席。
・各都道府県によっては、懇親旅行も兼ねて全国大会に出席。
・遠方FABとの仕事上で関わる機会は少ないが、もしもの時のために会員同士の交流を大事にして、何かあった時の繋がり的手段としてあればよい。
・協賛企業（協賛金）がいないと、開催する事すら難しいが、各青年部会員は全国大会が楽しみになっている。
3、全国大会の内容及び規模について
・2と同様
4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・会員も減少傾向で全国大会実行委員経験者も少なくなってきたので大変。特に予算に関しては難しい。しかしやってみると良いものではある。
5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・青年部単体で今までと同様な形が良い。
6、その他自由な意見を記載ください

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 C

書記 前田 祐一 発表者 北嶋 伸也

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・溶接イベントや勉強会の開催。
・他団体（設計や性能評価機構）交流や意見交換会
・県単位ではできない規模の講演会（WEB開催）
・青年部独自性の事業は残したい。
2、全国大会の開催の意義について
・1年に1回の成長の場。
3、全国大会の内容及び規模について
・青年部にとって貴重な機会であり継続して開催すべき。
・予算の中で、出来る事なら対面で開催したい。予算に見合った規模の検討。
・移動の交通費がかさむならWEB、オンライン開催の検討
4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・会員数の少ないブロックは運営が困難なため、ブロック間の協力体制が必要である。
・青年部の会員減少に伴う人材不足や出向を認めてくれる企業も減るかもしれない。
・協賛企業からの資金調達について、各企業へどれだけ負担をかけているかも考慮する必要がある。
・開催地は東京で毎年するのが予算的に有利だが、他の地域で開催もしたいと意見も有。
5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・青年部単体で今まで通り開催したい。
・資金援助は必要ではあり連携は必要。
6、その他自由な意見を記載ください

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 D

書記 三輪 康貴 発表者 多和田 靖也

1. 今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・今までは予算がない為お金のかからない事業をしていたが、講師を呼ぶなどお金のかかる事業も取り入れも良いのでは。
・各資格の講習会を各ブロックで開催してほしい。WEBでの講習会の開催（AIでのカメラ監視、DX化）
・フェーズドアレイ講習会を全構協主催で開催してほしい。
2. 全国大会の開催の意義について
・他地区の方と情報共有できる。
3. 全国大会の内容及び規模について
4. 全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・毎年開催ではなく、2年に1回などでしては？
・ブロック分けを兼行してみても良いのでは？（アクセスのよいところなど） 北、中、西くらいに分けてみる。
・部会長と2名程度の参加にして200名程度での開催してもよいのでは。
・予算を抑ええるために必ずホテルでしなくても、会長会議や総会は貸会議室などを借りて、懇親会のホテルとする。
5. 今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
6. その他自由な意見を記載ください

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 E

書記 布施 拓哉 発表者 田上 友貴

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・交流を目的とした全構協とのゴルフ大会。
・イベントなどを開催して、業界のPRをしたい。（知名度UP）
・図面問題がまだまだ課題である。もっと本格的に進めてほしい…
2、全国大会の開催の意義について
・悩みを共有して解決していける場である。
・色々な話ができる場。
・親会の意見もとっていれながら、全国の会長や会員と話し合える。
3、全国大会の内容及び規模について
・地域によっては、開催できる会場が限られている。開催場所によっては、今回のような人数制限も必要になってくる。
・今年と同等規模でも良いと思う。
4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・運営は大変ではではあるが、やってみてよかった。
・協賛企業は必要である。
・地域によっては、受け入れるのが難しい地域もある。
5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・制限なども付き今まで通りできない気がする。青年部単体のが良いのでは？
・青年部の全国大会なので青年部単体で開催したい。
6、その他自由な意見を記載ください
・旅費、交通費については全額会負担の県もあれば、会長、副会長のみ会負担でその他参加者は実費など様々であるようだ。

E班

布施 拓也（山形県） 三浦 彰夫（埼玉県） 橋本 直也（愛知県） 田上 友貴（大阪府）

益田 裕樹（山口県） 金本 貴範（全青会）

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 F

書記 小林 鉄平

発表者 松田 真弘

1. 今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・年間テーマを決め、外部講師を選定し、全国各地での講習会（一堂に介さなくても開催できる）
・青年部の意見を収集して全構協を通じての関係各所への陳情活動
・全構協との情報共有。全構協の持っている情報を青年部にも展開。
・NDIのUT講師を各ブロックへ派遣してもらう。（現状のポリテク主催だと講師の教え方に偏りがあったり、開催場所が遠方過ぎる事がある。）
・青年部の意見を吸い上げる場が必要。
・全青会のブロックと全構協支部会の連携をする。支部会から全青会ブロック事業への助成金を配布できないだろうか。
2. 全国大会の開催の意義について
・行ったことない地域などに行ける。
・普段合わない地域の情報を得る事が出来る。
・新しい情報や色々な情報が得れる。
・助け合いのできる仲間ができる。
3. 全国大会の内容及び規模について
・2年に1回の開催でもいいのか？半面、準備に2年も時間をかけると負担が大きい。
・実行委員会に参加するための交通費が遠方の県だと負担が大きい。→全構協からの支援が欲しい。
・各県親会からの助成金で大会に参加する方が多いと思うが、全国大会に参加して各県へ持ち帰る事ができる内容にした方が良いのでは。
・ミニ全国大会（3地区）をやってはどうか？
・各支部で交流会を行い幹事がまわっていく。
4. 全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・地域によっては、手配できる会場の確保が難しいかもしれないが、無い場合は結婚式場など借りてみては？
・持回りではなく、大都市での開催にしてはどうか？
・開催する地域によって交通の便に格差がある。
・実行委員会を行うにも交通費や時間も必要である。
5. 今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・全青会主体の方がよいのでは？全構協からは、助成金をもらえたら助かる。
・協賛は残した方がお互いにメリットがあり、良いと思う。
6. その他自由な意見を記載ください
・支部の改編（県の数が多い支部を少し細分化できるかどうか）
・支部長とブロック長の繋がりを強くする。カウンターパートナーとしての連携強化。

F班

中辻 淳（宮城県） 杉本 龍生（千葉県） 松田 真弘（石川県） 蒲田 佳亮（和歌山県）

小林 鉄平（香川県） 佐藤 陽一（大分県） 光村 圭介（全青会）

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 G

書記 中元 大 発表者 山本 友紀

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・ JASS6改定時に青年部の意見を取り入れてもらう。
・ 近年オーバースペックになりがちなので青年部の意見を構造設計士に聞いてもらう。
上記を行うにあたり、青年部だけでは重みが無いので、全構協の意見として上げていただきたい。
2、全国大会の開催の意義について
・ 各都道府県会員とのコミュニケーションが取れる。
3、全国大会の内容及び規模について
・ 屋外で行ってはどうか？費用を削減しながら大勢での開催ができる可能性有り。（ホテル開催でなくてもよいのでは）
・ 各地域で開催し活動内容を知ってもらう。
4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・ 主要都市で開催した方がよいのでは？各地方で行って、その地域に業界のPRを行った方がよいのでは？と2つの意見有り。
・ 実行委員会は全青会の中に理事以外を募っての立上げをしてはどうか。（各県やブロックから）
・ 全国大会の運営費が多額となりすぎないように注意。
5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・ 2日間に分けて、2部構成としてはどうか。1日目は全構協と各会長だけで、2日目は青年部だけで行う。
・ 青年部単体で良いのでは？
・ 制限が多くなり、おもしろみが無くなるのでは？
6、その他自由な意見を記載ください

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 H

書記 長西 朋宏

発表者 西原 泰仁

1. 今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・全青会から全構協へ受け身では無く積極的に意見を投げかける。
・全構協内に全青会枠を作ってもらい青年部の意見を伝えれる機会が欲しい。
・全構協と共に業界の地位向上のための活動。青年部の得意とするSNSでの発信、PR活動で協力をする。()
・全国組織のスケールメリットを生かした事業を共に行う。
・全国大会担当事務局の設置(全国大会サポート)
2. 全国大会の開催の意義について
・交流を深める事で実務においての協力体制をつくれる。
・情報を自社へ持ち帰れる。
・モチベーションアップになる。
・色々な価値観を得る事が出来る。
3. 全国大会の内容及び規模について
・今後従業員や管理者が参加する可能性もあるため金曜日が良いのでは？
・場所にもよるが多く参加できるようにしたい。→立食にしてはどうか？増員できる。
・協賛企業の参加は必要。ブース出展は今後も必要と思う。
・地域によっては負担が大きい。
4. 全国大会運営(持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め)について
・地域によっては負担が大きい。
・アシストする全国大会担当事務局がほしい。
5. 今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・各地域の負担を減らすために、全構協と連携する。
・全構協に意見を貰いながら、青年部らしさは残す。
6. その他自由な意見を記載ください

H班

佐藤 晃一(福島県) 鈴木 昭典(神奈川県) 長西 朋宏(京都府) 西原 泰仁(鳥取県)

入木田 智聡(鹿児島県) 太田 益生(千葉県) 平松 伸吾(鹿児島) 谷本 匡朗(全青会)

会長会議第2部「今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？」「全国大会のあり方」

グループ名 _____

書記 杉友 伸康

発表者 阿萬 祐典

1、今後、全構協と一緒に取組みたい事業は？
・業界PRも含め、家族も一緒にでのFAB祭り開催
・各社お金を出しあってのテレビ放送、CM作り（例えば、1社1万程度又はグレード別に金額を変えて）
2、全国大会の開催の意義について
・共に参加するメンバー(同県)との関係性、距離感を縮める。
・各地域の方々との交流で、モチベーションをあげられる。
3、全国大会の内容及び規模について
・10年後に今のような規模で開催できるか？縮小も必要になってくる。
・地域によっては、人数や会場の確保が難しい。
4、全国大会運営（持回り制・予算等・各ブロックの人材も含め）について
・会員数も減りつつあるので、現状のように持回りは難しいのでは？
・ブロック合同での開催。
・マニュアル、フォーマット化し運営を簡素化すればもう少しやりやすくなる。
5、今後の全国大会を開催するにあたり今まで通り、青年部単体？全構協と連携する？
・圧倒的に青年部単独で開催するという意見が多かった。
・事務局を立てて、スムーズな運営をしていく。
6、その他自由な意見を記載ください

1 班

青木 聡（群馬県） 富田 康人（福井県） 前畑 佑二（鳥取県） 杉友 伸康（徳島県）

水野 壮平（奈良県） 阿萬 祐典（宮崎県） 武田 充広（全青会）